

中施策評価書

作成日 令和07年 10月 27日

中施策事業名	保健衛生事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
③中施策	市民が安心できる地域の医療・福祉をつくる民間の活動を支援する
④中施策事業の対象	・ 8020・8820表彰：80歳・88歳以上で自分の歯を20本以上保っている市民 ・ フッ素塗布：1歳以上の市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	生涯にわたり歯を20本以上保ち、健康の保持増進につとめている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	豊明市医師会等補助金（愛豊歯科医師会豊明支部に交付）

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
8020・8820表彰の 対象者数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	270	270	270	0	0
		実績値	224	272			
・歯の衛生週間に 実施するフッ素塗 布人数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	400	400	400	0	0	0
	実績値	0	0				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			1,300千円	1,300千円	
人 件 費	a 事業費合計		1,300千円	1,300千円	1,300千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			1,300千円	1,300千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			19円	19円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△ B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△ B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 8020・8820運動に関しては、文化会館ホールにて実施。年々表彰者は増加している。歯と口の健康づくり推進条例に基づき、歯科医師会との協議の元、普及啓発等行うことができた。また、従来のフッ素塗布事業は、感染症流行状況に伴い、令和6年度も中止している。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	生涯にわたり、良い歯と口腔の状態を保つため、節目歯科健診の受診に力を入れている。令和7年度より、60歳以上に口腔機能評価アンケートと、乳幼児フッ素塗布事業を実施予定。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	健康増進事業計画に、歯科口腔機能評価の項目を作成し、歯と口腔の健康づくりに対し強化を図っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 10月 27日

中施策事業名	成人検（健）診事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	1年に1度検（健）診を受診する。結果により、医療機関への受診等、健康に過ごすための行動を起こすことができている
⑥中施策事業を構成する 事務事業（手段）	・がん検診 ・歯科健診 ・骨粗鬆症検診 ・特定健診 ・はつらつ健診 ・35-39歳健診 ・成人健診

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
胃がん検診における精密検査受診率 (要精密検査者数÷精密検査受診者数)	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	90	90	90	0	0	0
各種がん検診延受診人数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	28,000	28,000	28,000	0	0	0
単位 人	実績値	20,644	20,143				
	実績値	20,644	20,143				

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			139,012千円	135,457千円	
人件費	a 事業費合計		139,012千円	135,457千円	156,716千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			3,145千円	3,577千円	3,302千円
③ コスト(①-②)			135,867千円	131,880千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			1,974円	1,916円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 精密検査受診率は未受診者への受診勧奨・受診状況をタイムリーに実施し、医療機関とも連携し状況把握に努めることができた。検診受診率の向上のため、性別や年齢を重視し、重点的に個別受診勧奨を実施した。また、引き続き子宮がん検診における女性用検査パンツの配布等、受診しやすい環境に努めた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	受診率向上のため、個人通知をナッジ理論を利用した通知の発送を実施する。また、子宮がん、乳がん等項目を限定した「レディースデー」を開催し、女性が受診しやすい環境づくりに努める。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き女性デーの実施と、女性医師の確保に努める。また、協会健保など職域を含めた各関係機関と連携した受診勧奨を図り、受診率向上と受診しやすい環境づくりに努めていく。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

中施策評価書

作成日 令和07年 10月 27日

中施策事業名	休日診療所事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる
④中施策事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日・祝祭日、年末年始に豊明市休日診療所を受診した者 ・ 市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切にかかりつけ医を受診できている ・ 急病の場合、豊明市診療所を知っており受診できている ・ 緊急時に受診できる病院を知っており、受診することができている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 豊明市休日診療所事業

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
患者人数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	2,000	2,000	2,000	0	0	0
	実績値	3,153	2,794				
市内にある、休日・夜間に診療可能な病院数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	4	4	4	0	0	0
	実績値	4	4				
単位	人						
市内にある、休日・夜間に診療可能な病院数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	4	4	4	0	0	0
	実績値	4	4				
単位	件						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			26,581千円	29,964千円	
人件費	a 事業費合計		26,581千円	29,964千円	23,820千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			48,650千円	33,911千円	55,440千円
③ コスト(①-②)			-22,069千円	-3,947千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			-321円	-57円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	<input type="radio"/>
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	<input type="triangle"/>
			B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>急激にインフルエンザ罹患者が増えたが、患者数の動向を注視したことにより早期に医師会、薬剤師会等へ働きかけ、安全・安心に診察が受けれるよう職員の増員と医薬材料の確保ができた。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	インフルエンザ等の感染症の流行状況に注視し、医療の継続を図れるよう医師会や薬剤師会と協議しながら運営していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	今年度の成果を踏まえ、感染情報を注視し人員や医薬材料などを確保する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 10月 27日

中施策事業名	保健センター維持管理	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	02 多様な主体者が連携して、将来を見据えた医療や福祉の戦略を実行しており、市民が安心している
②大施策	市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する
③中施策	多様な主体者が共通の目標を持ち、行動できる環境をつくる
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	各種検診・健康づくり事業の拠点として市民が安心して来所できる
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設設備点検・保守

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
施設運営に重大な影響を与えた故障件数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	
		目標値	0	0	0	0	0	
単位	件	実績値	0	1				
		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	
		目標値	0	0	0	0	0	
単位	件	実績値	0	0				
		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	
		目標値	0	0	0	0	0	
		実績値	0	0				

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			10,690千円	11,011千円	
人 件 費	a 事業費合計		10,690千円	11,011千円	10,765千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			10,690千円	11,011千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			155円	160円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△
		△	○

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 雨水槽の蓋が破損したため、工事を実施。その他定期的な保守点検を図り、業務に支障がないように努めた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	雨水槽の蓋の破損以外にも、他の蓋についても点検し、修繕を行った。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	昭和62年に整備された保健センターは高圧電気やエレベーター等改修が必要な箇所がある。長期的にみた適正な改修等の工事計画が必要である。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 10月 27日

中施策事業名	健康づくり事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	市民の体調や基礎体力を整えるための活動を支援する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民自ら健康の増進や疾病予防のために行動し、また地域全体でも取り組んでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・とよあけ健康21計画 ・CKD対策 ・健康相談 ・健康づくり事業(出前講座、教室等) ・健康マイレージ 		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
とよあけ健康ウォーキング参加人数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	830	830	830	0	0	0
大金星マイレージシートまいかけ交換枚数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	150	150	150	0	0	0
単位 枚	実績値	33	126				
	目標値						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			293千円	258千円	
人件費	a 事業費合計		293千円	258千円	286千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			293千円	258千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			4円	4円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 予防教室は、集団教育と個別相談を組み合わせ、より効果的な方法で実施した。若い世代の参加を目指し、周知活動を行った。禁煙デーについては、薬剤師会と協力し街頭にてPR活動を行い、周知に努めた。 健康づくりの課題について現状分析しながら、第3次とよあけ21計画の策定を行った。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	広報へ隔月で「+10運動」を掲載。併せてとよあけ健康ウォーキングは推進員が中心となり普及啓発に努めた。 CKD対策委員会等を開催し、医師会と連携し保健指導や重症化予防の充実をはかっていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	広報へ隔月で「+10運動」を継続的に掲載。職域連携を勧め、禁煙デーや運動等の健康行動に対し、市民の健康意識の向上に努めていく。その他、関係部署と連携し、医療や介護と一体的に健康づくりに取り組んでいく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 10月 27日

中施策事業名	食育推進事業	部課名	健康福祉部・健康推進課
		作成者	川原 静恵

①めざすまちの姿	29 子どもが元気に外で遊んでいる
②大施策	子どもが元気に外で遊べるまちをつくる
③中施策	子どもの健康な育みを支援する
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	食に関する正しい知識を持ち、健康的な生活を過ごす
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・おやこ食育教室 ・ヘルシーレシピ

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
3歳児健診の問診 項目「毎日朝ご飯 を食べている」と 回答のあった割合		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	96	96	97	0	0
ヘルシーレシピ設 置場所		実績値	96	96			
単位	%	実績値	96	96			
ヘルシーレシピ設 置場所		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	12	12	12	0	0
単位 か所		実績値	11	2			
		実績値	11	2			

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			32千円	46千円	
人 件 費	a 事業費合計		32千円	46千円	58千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			32千円	46千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	1円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△
		B	

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B おやこ料理教室は、メニューにヘルシーレシピを取り入れ普及に努めた。また、食育ネットワーク会議を開催し、関係機関と連携し情報交換を図りながら食育推進を実施した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	生活習慣病対策において、バランスがとれ適正量が摂取できるような啓発は非常に重要な。『プラス+ 片手いっぱいの野菜から』を目標に掲げ、広報等でヘルシーレシピの普及を実施した。また、親子を対象とした料理教室のメニューに取り入れた。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	国民健康栄養調査によると、野菜摂取量は前回の調査時より減少が認められた。職域や企業等との連携により、野菜摂取量を増やすためヘルシーレシピについて更なる普及を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等